

東亜同文書院・坂本義孝・上海居留日本人キリスト教関連年表

年次	東亜同文書院関係	坂本義孝関係(年齢)	上海居留日本人キリスト教関係	その他
1871 明治4				1ドイツ帝国成立 7日清修好条規 9断髮
1875 明治8				上海東本願寺別院 5樺太千島交換条約
1876 明治9				三井洋行上海支店開設 3廢刀令
1877 明治10	根津一(17)陸軍教導団入団			西南の役
1878 明治11	荒尾精(19)陸軍教導団入団			
1879 明治12	根津(19)士官学校入学(陸士旧4期)			エジソン電灯発明
1880 明治13	荒尾(21)士官学校入学(陸士旧5期) 岸田吟香(47)上海楽善堂支店開設			
1881 明治14				板垣退助(44)自由党結成
1882 明治15	荒尾(23)士官学校卒業 岸田(49)古典の袖珍本刊行			
1883 明治16	荒尾(24)熊本鎮台で御幅雅文(24)と文流 根津(22)士官学校卒業			11鹿鳴館開館
1884 明治17 光緒10		5.15福島岩城郡内郷村小島(現いわき市)に生まれる		清仏戦争(~1885)
1885 明治18 光緒11	荒尾(26)参謀本部支那課勤務 2根津(25)陸軍大学校入学 4近衛篤磨欧州留学(~1890.9)	(1)		
1886 明治19 光緒12	4陸軍将校荒尾(27)漢口楽善堂設立 根津(26)メッセルと対立し論旨退学	(2)		1帝国大学令公布 4日本、師範学校、小学校、中学校令公布
1887 明治20 光緒13		(3)		
1888 明治21 光緒14		(4)		日本郵船上海支店開設
1889 明治22 光緒15	2根津(29)参謀本部勤務 4荒尾(30)帰国、陸軍退役	(5)	宣教師エドワード・エバンス(米国)上海共同租界虹口で邦人に伝道開始在留邦人信者約100名英語聖書研究会と礼拝、出席約15名程度	2大日本帝国憲法発布 5-6田岡嶺雲、上海東文学社講師就任
1890 明治23 光緒16	5根津(30)陸軍予備役 7根津、漢口楽善堂へ 9荒尾(31)上海に日清貿易研究所開設(学生150名) 11根津、研究所代理所長就任	(6)		10教育勅語発布 11第1回帝国議会
1891 明治24 光緒17		(7)	同志社神学部卒業上田上海着集会所を武昌路にうつす	日本綿糸、中国進出シベリア鉄道起工
1892 明治25 光緒18	8-研究所編『清国通商総覧』	(8)		
1893 明治26 光緒19	6日清貿易研究所卒業式(卒業生89名) 7日清商品上海陳列所 12根津(33)満洲・視察後帰国、京都南禅寺近くに隠棲	(9)		横浜正金銀行上海支店開設
1894 明治27 光緒20	7根津(34)参謀本部復職し9月迄上海密航諜報活動、荒尾(35)京都若王子に隠棲 8日清商品上海陳列所閉鎖(日清貿易研究所解散) 10根津第2軍参謀として中国上陸、後少佐	(10)	日清戦争のため上海在留邦人帰国、エバンス伝道中止	7日清戦争はじまる 11孫文(28)興中会結成
1895 明治28 光緒21	10根津(35)退役、京都隠棲	(11)	エバンス宅で伝道再開	4下関条約締結 10孫文(29)広州挙兵
1896 明治29 光緒22	近衛(33)貴族院議長就任 7根津(36)、京都若王子に隠棲、荒尾(37)媒酌で同志社女子教師藤居糸い(29)と結婚 10台北で荒尾死	(12)		孫文(30)ロンドン清国公使館に監禁される
1897 明治30 光緒23	4犬養毅(42)ら東亜会結成	(13)		2商務印書館設立
1898 明治31 光緒24	6同文会結成 11東亜同文会成立	(14)		6戊戌変法 9戊戌の変
1899 明治32 光緒25	4東亜同文会会長近衛(36)欧米視察出発 10近衛、劉坤一・張之洞と会談 11近衛、根津(39)会談	(15)	エバンス帰国、後任にワット(英人)	2日本、中学校令改正、高等女学校、実業学校令公布 3日本、文官任用令改正 5義和団蜂起 日本領事裁判権撤廃

1900 明治33 光緒26	3南京同文書院開校 5根津(40)上京し東亜同文会評議員・院長 就任、近衛代理として渡清し両江總督劉坤 一と会談 7根津帰国、院長代理・監督田鍋安之助 (36)渡清 8南京同文書院、上海にうつる 9近衛(37)、国民同盟会結成	(16)	聖書研究会参加者300~400人	6清国、列強諸国に宣戦布 告 8八カ国連合軍北京占領
1901 明治34 光緒27	2東京同文書院 5上海高昌廟桂墅里で東亜同文書院開校、政 治科・商務科(春期入学・3年制) 上海YMCA協力主事ハネックス、英語担 当、学生有志に聖書研究指導、常時25名参 加 7近衛(38)北京視察	福島県立磐城中学(現磐城高校)第1 期卒業 5東亜同文書院第1期商務科入学 (17)		
1902 明治35 光緒28	8聖書研究会、常時25名参加 3ハネックス退職 5根津(43)院長就任 8第3期生(以降8月入学)、近衛(40)対露 同志会結成 9D.W.ライオン聖書研究会、30~40名参加、 学内で活動	(18)		日英同盟 12日本紡績業の中国進出
1903 明治36 光緒29	1近衛没(41) 聖書研究会、75~91名参加 聖書研究会が営口日本YMCA慰問金品送 付参加 5聖約翰大学と野球試合	3東亜同文書院第1期商務科卒業、営 口税関就職(20)	C.M.マイアーズ、長崎東山学院 から来任、聖書研究会引き継ぐ 上海居留邦人キリスト教信者、 営口に設置された日本YMCA へ慰問金品送る	2日露戦争はじまる
1905 明治38 光緒31	4イギリス陸軍大尉カートン見学 5聖約翰大学と野球試合 日本YMCA同盟主事大塚素講演 12『支那經濟全書』刊行	6卒業生に学士称号、聖約翰大学と野球試合	日本YMCA主事大塚素、同協 力主事G・フィッシャー上海中国 YMCA訪問 C.M.マイアーズ集会20名参加	8東京で中国革命同盟会結 成 9ボーツマス条約締結科挙 廃止
1906 明治39 光緒32	第1回大旅行(外務省より3年3万円補助) 夏コレラ流行	(21)	4.5上海日本人YMCA成立(乍 浦路40号)	5惠州起義
1907 明治40 光緒33	1犬養(53)来校 9H.マイアーズ講師就任 10明治天皇より御下賜金 11鍋島直大(62)、清浦奎吾(58)来校	5アメリカ在住、住所219JacksonSt. LosAngeles(24)	上海日本人YMCA夜学生130名 登録、聖書研究会3班、機関誌 1,000部、会員40名	滬杭線開通 台湾縦貫線開通
1909 明治42 宣統元	8マイアーズ退職、第9期生より宮城拝観開 始	(25)	上海日本人YMCA正会員30、 準会員140、聖書研究会12班、月 報1,000部、夜学生110、公開講 演毎回満席	8韓国併合 10伊藤博文暗殺(68) 滬寧(上海南京)線開通
1910 明治43 宣統2	9マイアーズ講師就任	(26)	上海日本人YMCA、会報を 『旭光』と改題	8韓国併合 10大逆事件
1911 明治44 宣統3	4東郷平八郎(63)、乃木希典(62)来校	アメリカ在住(27)		2日本関税自主権確立 4清華学堂(後清華大学) 開校 10辛亥革命
1912 明治45 大正元 民国1		(28)	上海日本人YMCA『旭光』を 『上海評論』と改題 上海日本人YMCA会館、崑山 花園22号ミッション・ビルへ移 転、25名収容宿舎、食堂、浴 室、正会員82、準会員111、夜学 校開校	1南京に中華民国成立 2袁世凱(53)臨時大總統 7明治天皇崩御(62)、大 正天皇(33)即位 羅足・弁髪禁止令
1913 大正2	7高昌廟桂墅里校舎焼失、長崎仮校舎 10マイアーズ退職、上海復帰赫司克而仮校 舎へ	(29)	上海日本人YMCA、理事10、 終身会員7、維持会員119、普通 会員83、事務室1 4上海日本人YMCA、上海商業 学校開設 9日本基督教会の指導をうけ、 YMCAから協会活動を分離、上海 日本人基督教会とする	7第2革命 10日本、中華民国承認
1914 大正3	6『華語萃編』 9農工科設置	(30)	10内山完造(29)YMCA集会 参加	7第一次世界大戦はじまる 8/ナマ運河開通
1915 大正4	学生YMCA結成	(31)	8上海日本人YMCA機関誌『上 海青年』創刊	1対華21カ条要求 7朝鮮総督府私立学校改正 規則公布、キリスト教教育 制限
1916 大正5		南カリフォルニア大学(USC)東洋科 教授、住所216w23rdSt. LosAngeles (32)	内山(31)上海日本人YMCA入会	アインシュタイン(37)一 般相対性原理発表 6袁世凱没(57)

1917 大正6	4徐家匯虹橋路校舍竣工、日本YMCA名誉主事 フィッシャー、京都YMCA総主事村上正次講演 5日本メソジスト教会監督平岩愷保講演 『支那省別全誌』刊行	(33)	4日本YMCA名誉主事フィッ シャー、京都YMCA総主事村上正 次来訪 5同志社長長原田助、日本メソジ スト教会監督平岩愷保来訪 北米YMCA同盟へ上海日本人 YMCA会館建設援助依頼	中国、新文化運動はじまる 内山書店開店（魏盛里） 3ロシア2月革命 11ロシア10月革命
1918 大正7	外務省より中華学生部設置命令・ 10支那研究部設置（学内研究所）、学生自 治会成立	(34)		8シベリア出兵、米騒動
1919 大正8			第1回国際労働総会（IOL）日本政府 代表補佐（ワシントン）（35）	1パリ講和会議 五四運動
1920 大正9	4農工科学生募集停止 9中華学生部設置	(36)		1国際連盟成立
1921 大正10	4第21期生（以降4月入学・4年制） 6政治科廃止 7専門学校令適用、外務省所管 12天津同文書院中学部（後中日学院 - 敗戦 迄）	8東亜同文書院教授就任（37）		7中国共産党成立 12日英同盟廃棄
1922 大正11 民国11	2東亜同文会、財団法人化 3漢口同文書院中学部（後江漢中学校） 東京同文書院閉校	4清華大学での世界基督教学生同盟大 会（WSCF）参加 11第4回ILO総会参加（ジュネーブ） （38）	上海日本人YMCA前田主事、 来滬中のアインシュタイン （43）を案内	7日本共産党成立 12ソビエト社会主義共和国 成立
1923 大正12	3根津（63）院長退任、大津麟平（58）院長 就任	夏南京で林出賢次郎（41）、東京で 東亜同文会会長牧野伸顕（62）、同 副会長近衛文麿（32）と会談 10外務省及協会の依頼を受け、第5 回ILO総会に参加（ジュネーブ） （39）		5外務省に対支文化事務局 （後文化事業部） 9関東大震災 11長崎丸（神戸長崎上海） 就航
1924 大正13	東亜同文書院維持会成立 タゴール（63）来校	1ベネチア滞任（40）		内山書店拡大（文化サロ ンの存在となる） 3日本共産党解党決議 11第1次国共合作
1925 大正14	9代議士一宮房治郎、中野正剛（39）、大内 暢三（51）講演、国際連盟協力理事兼慶応 大学総長林毅陸（53）講演	夏大磯静養、学生と日光中禅寺湖・ 富士山登山、国際連盟協会で講演、 福島県平町（現いわき市）で講演 12中華学生部長就任（41）		1日本ラジオ放送はじまる 3孫文没（59） 五・三〇事件
1926 大正15 昭和元 民国15	5近衛文麿（35）院長就任 10近衛来校	夏満洲研究旅行（42）		7蒋介石（39）北伐開始 12大正天皇崩御（47）、昭 和天皇（25）即位
1927 昭和2 民国16	2根津一没（67） 12胡適（36）特別講義	3.26上海日本人YMCA理事長として上 海商業学校第12期卒業式参加 5東亜同文書院就職委員 6.24-7.20東亜同文書院中華学生部日 本見学旅行引率（43）		四・一七クーデター 魯迅上海にうつる
1928 昭和3 民国17	1学校バス虹口運行 11日中学生同居許可 12殷汝耕（43）講演	上海日本人YMCA理事長（44）	4上海日本人YMCA上海商業学校が 外国語学校へと改組	4第2次北伐開始 6北伐軍北京入城張作霖爆 殺（53）
1929 昭和4 民国18	4陳彬蘇特別講義 6犬養（74）、頭山満（74）講演	(45)		内山書店北四川路底に移転 10世界恐慌はじまる
1930 昭和5 民国19	5『山洲根津先生伝』 9中華学生部新規学生募集停止 11学生ストライキ 12第1次学生検挙事件（反戦ビラ配布事件）	4上海日本人YMCA理事長、同外国 語学校長（46）	4上海日本人YMCA外国語学校英語 上海語143名、新入会員43名 5.23上海日本人YMCA第1回理事会 内山(45)講演部長	
1931 昭和6 民国20	1大内暢三（57）院長代理就任 4魯迅（50）特別講義 12大内院長就任	3.16東亜同文書院退職 10太平洋問題会議に新渡戸稲造 （69）らと参加 11上海日本人YMCA理事長・同会館教 育部講師英語主任（47）		9上海自然科学研究所開設、柳条湖事件
1932 昭和7 民国21	2第1次上海事変を避けて長崎引き揚げ 4上海復帰	上海日本人YMCA理事長（48）	3停戦後、上海日本人YMCA会館、 上海事変日本軍陸戦隊慰問場設 置 上海日本人YMCA会館で魯迅木版 画展	1第1次上海事変 3満洲国建国宣言 4上海新公園テロ事件 五・一五事件、犬養毅総理 暗殺
1933 昭和8 民国22	3第2次学生検挙事件 4芳沢謙吉外務大臣講演 11上海日本人倶楽部で「大旅行」学生撮影 映画会	6対支文化事業部長坪上貞二に聖約翰 大学教授洪水星補助依頼（49）		3日本国際連盟脱退
1934 昭和9 民国23	3最後の中国人学生卒業	上海日本人YMCA理事・学校長 秋までに帰国か？（50）	2上海日本人YMCAで朝鮮人会親睦 会 6上海日本人YMCA会館内に上海朝 鮮人会事務所及び幼稚園を設置 10上海日本人YMCA理事長乾 精末	3満洲国帝政 10中共長征（～1936.10）
1935 昭和10 民国24	11靖亜神社（祭神近衛篤麿・荒尾精・根津 一）	在日スイス公使館顧問？（51）		2美濃部達吉（62）天皇機 関説 中国共産党抗日救国宣言 （八一宣言） 12大本教主不敬罪
1936 昭和11 民国25		(52)		二・二六事件 10魯迅没（55）

1937 昭和12 民国26	江漢中学校、中日学院へ吸収 8徐家匯虹橋路校舎接收 9学生志願従軍開始 10長崎仮校舎 11徐家匯虹橋路校舎焼失	(53)		6第1次近衛(46)内閣 7日中戦争はじまる 8.13第二次上海事変 12日本軍上海南京占領
1938 昭和13 民国27	2.2程樸洵講師自殺 4上海復帰、徐家匯海格路仮校舎(交通大学校舎)	(54)	上海日本人YMCA理事長乾精末	1近衛(47)声明(国民政府を相手にせず)
1939 昭和14 民国28	2近衛文隆(24)学生主事就任 4大学昇格	(55)		3ノモンハン事件 12朝鮮創氏改名
1940 昭和15 民国29	9矢田七太郎(59)学長就任	3東亜同文会定例講演会出席 6東亜同文会定例講演会出席(56)		3汪兆銘(57)南京政府 7第2次近衛(49)内閣 9日独伊軍事同盟
1941 昭和16 民国30	『新修支那省別全誌』刊行	(57)	上海日本人YMCA理事長川口憲一	7第3次近衛(50)内閣 10東条英機(57)内閣、ソルゲ事件 12太平洋戦争はじまる
1942 昭和17 民国31	10上海に東亜工業学院開校	太平洋戦争開戦後に上海へ、上海市政研究会勤務 3外務省囑託として岡崎事務所(外務省機関)勤務(58)	上海日本人YMCA理事長川口憲一	11大東亜省設置
1943 昭和18 民国32	4付属専門部設置(滬江大学校舎)、北京工業専門学校開校 12学徒出陣	6聖約翰大学教授(59)		1英米、国民政府と租界廃止条約 6日本、汪政權に租界返還
1944 昭和19 民国33	2本間喜一(53)学長就任	(60)	6上海日本人YMCA理事長内山(59)	
1945 昭和20 民国34	北京經濟専門学校開校 5富山県呉羽分校 9徐家匯海格路仮校舎接收 11呉羽分校閉鎖	3聖約翰大学退職 5帰国 敗戦後上海に渡る(61)		5ドイツ無条件降伏 8日本無条件降伏
1946 昭和21 民国35	3東亜同文会解散 4学生・教職員帰国	3.27帰国 5.6没(62)	4上海日本人YMCA活動終了	

注：人名(数字)、数字は年齢。